

2021～2022 年度



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

TEL 048(975)9898

FAX 048(977)3741

創立：1976 年 5 月 11 日

会 長：中澤 伸 浩

副 会 長：吉澤 晴 雄

幹 事：今井 英 治

会報委員長：黒田 幸 英

第 2214 回 例会記録 No. 15

令和 3 年 12 月 1 日

司会：伊藤 純 編集：近藤 慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ローターソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 四つのテスト
4. 結婚記念・誕生日祝い
5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 会員卓話 「ご両親への想い」

第 1 部 吉田 実 会員

第 2 部 市川 洋和会員

9. 出席報告

【次回例会案内】 令和 3 年 12 月 15 日

ロータリアンの行動規範

雑誌記事紹介

外部卓話「我が道草人生に悔いはなし」

卓話者：白川好光様

会長卓話



中澤 伸浩 会長

皆さん、こんにちは。

さて、スケジュールされたハイブリッド例会と例会場でのリアル例会の併用方式もいよいよ終わりを迎え、この 12 月からは従来通り、例会場での例会を開催していくことになりました。こうして皆さんと顔を合わせて例会を開けるのは本当に素晴らしいことですね。今後の感染状況の推移を見ながら、場合によっては開催方式の変更が必要となる局面も出てくるかもしれませんが、今のところは毎週このリアル例会方式で、魅力あるプログラムを実施していく予定ですので、多数の会員の皆さんが参加してくれることを期待しています。

さて、本日私は結婚祝いを頂戴しました。私の結婚記念日は、年の瀬も差し迫った日ということで何となく 12 月 28 日と記憶していたのですが、先ほど年度計画書を見ましたら、12 月 27 日となっていました。どちらが正しいのか、あとで戸籍や住民票で確認したいと思います。

越谷北ロータリークラブ

2021-2022 中澤伸浩会長提言 「感謝の気持ちを奉仕につなげよう」
ホームページアドレス <https://koshigayakita-rc.jp/>



私は、昔から本当に記念日ものに弱くて普通女性はそういう記念日とかにうるさいことが多いかと思うのですが、私の妻は、そんな私のスタイルに慣れてしまって、今ではお互いの誕生日すら気付かずに過ぎてから気付くようなことも多々あるような状態になってしまいました…。

私が何故 12 月の暮れに結婚したかというのはこれまで何回かお話ししましたが、配偶者控除の利益と、配偶者限定の自動車保険というのが、大きな決め手となったという少々情けないお話であります…。なかなか 12 月の暮れに結婚する人など他にいないかと思ったら、近藤会員がなんと近々 12 月下旬に結婚予定と伺いました。おめでとうございます！近藤さんが何故 12 月の暮れ時に結婚するのかという理由は、私のような情けない理由とは全く異なるようですので、興味のある方は、改めて近藤さんご本人から聞いて下さい。

さて、本日は会員卓話ということで、吉田会員、市川会員どうぞよろしくお願いいいたします。「ご両親への想い」というテーマでお話しを頂くこととなりますが、この企画は、プログラム委員会の副委員長太田会員から是非にということで実現したものです。これから下期に向けても、会員の皆さんに卓話の依頼があるかと思しますので、皆様ご協力の程、どうぞよろしくお願いいいたします。

本日の会長挨拶は、その枕ということで私の両親への想いということで少々お話ししますと、中澤家の男系は、非常に短命で、かつ健康なまま脳梗塞や心筋梗塞といった循環器系のトラブルで突然亡くなってしまふという、いわゆるピンコロと言われる家系でありまして、私の父も 70 歳を前にして亡くなってしまったのですが、当時は私も考えが未熟で、父がそんな早くに亡くなることなど全く予想していませんでした。今から思えばもっと父とこんな話をしたかった、こういうことを聞いたかったということがたくさんあり、そのことを思うと今でも本当に残念な気持ちと後悔でいっぱいになります。

なります。

ロータリー関係で訃報を頂戴すると、最近では享年 80 何歳とか 90 何歳とか長寿の方も多いようにお見受けし、お父様やお母様とそれだけ長く過ごせた方は本当に羨ましいなあと思います。

私も中澤家の男系として短命の系譜ではあるのですが 70 歳を前にして亡くなってしまうとすると、あと 10 数年しかこの人生を体験できないということになってすごく損な思いをしてしまいますので、健康への気遣いや運動など全く疎い私ではありますが、何とか気合いで 100 歳まで生き抜く決意しております。

会員の皆さんも、是非、長寿を全うして頂けるように心から祈念しまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告



今井 英治 幹事

(地区より)

- ・インターアクト協議会ご案内が届いております。
2022 年 2 月 6 日(日)開催予定です。現在、獨協埼玉の瀬戸先生に出欠の確認中です。
- ・地区ローターアクトより「清掃活動/地区忘年会」開催のご案内が届いております。2021 年 12 月 18 日(土) 13:45～ 与野駅西口に集合となっております。ご関係者の方は、宜しくお願いい致します。
- ・ロータリー財団部門より、12 月号の財団ニュースが届いております。
- ・地区大会の御礼で、羊羹を頂きました。お帰りの際にお持ち帰りください。宜しくお願いい致します。



(クラブより)

- 越谷東 RC より、訃報のご案内が届いております。
越谷東 RC の皆川健三(ケンゾウ)様が、令和 3 年 11 月 22 日に逝去(セイキョ)されました。尚、葬儀は既に近親者のみで執り行われました。また故人様のご遺志により、弔問(チョウモン)及び香典は、ご辞退させて頂きたいとお申し出がございましたので、恐れ入りますが何卒ご理解下さいます様宜しくお願い申し上げます。とご連絡を頂きましたのでご報告とさせていただきます。
- 須賀会員より、須賀商店の卵を使った美味しいカステラを頂きました。全国のドールで絶賛販売中です。数に限りがございますが、ご賞味下さい。
本日の幹事報告は、以上になります。

結婚記念・誕生日祝い

(結婚記念)

丸林 綾子 会員 ・ 中澤 伸浩 会員

(誕生日祝い)

稲垣 勝三 会員 ・ 鈴木 英男 会員
宮崎 敏博 会員 ・ 会田 謙二 会員
小宮山 大介 会員 ・ 高橋 陽一 会員



おめでとうございます！



鈴木 英男 会員

本日は誕生祝ありがとうございます。いつの間にか 84 歳になってしまいました。ここに松下幸之助氏「ええ年寄りになりなはれ」から、私を指しているような文がありますので読んでみたいと思います。

- 一. 年を取ったら 出しゃばらず
にくまれ口に 泣きごとに
人の陰口 ぐち云わず
他人のことは ほめなはれ
聞かれりや教えてあげても
知ってることでも知らぬふり
何時でもアホでいるこっちゃ
- 二. 勝ったらあかん負けなはれ
いづれお世話になる身なら
若いもんには 花もたせ
一歩さがって ゆづるのが
家庭円満 コツですわ
何時も 感謝を忘れずに
どんな時でもハイありがとう
- 三. 昔のことは 皆忘れ
自まん話はしなはんな
わしらの時代はもう過ぎた
なんぼ頑張り りきんでも
体が云うこときまへん
あんたは偉い わしゃあかん
そんな気持ちでおりなはれ

(引用:松下幸之助「ええ年寄りになりなはれ」より)

参考にしたいと思います。ありがとうございました。



委員会報告

会員増強維持委員会 深野 秀樹 委員長

1. 先日オブザーバーで来てもらった大塚君ですが、非常に前向きな話を頂いております。引き続き皆様のご紹介をお願いしたいと思います。
2. 先月 25 日に青年会議所の会議が例会場で行われました。ボックスに青年会議所の場所を頂きまして「記録簿」を入れさせてもらっています。使用用途と人数などが記載されていますのでご興味がありましたら見て頂きたいと思っております。新年度以降も引き続き会議場をお借りしたいとのことで伺っています。今回も非常に助かりましたとお聞きしています。
3. 先週末にベースボールフェスタの長瀬先生から連絡が来まして、事前登録が 850 人程度来ており今週末には 1,000 人程度になることが予想されています。越谷北 RC の皆様にはよろしくお伝えくださいと頂いております。

ロータリー情報雑誌委員会 須賀 篤史 委員長

今月号のロータリーの友 P64 について関森永世名人の詩が掲載されました。まだまだ詩も募集しますので皆様からの一句をよろしくお願いいいたします。

◆関森初義 永世名人

自然の色合いのすばらしさを歌いました。

『須賀の里緑の丘に赤々と 一列なして咲く曼珠沙華』(*ロータリーの友 12 月号 P64 参照)

IM ゴルフ実行委員会 須賀 篤史 委員長

ついに明後日の開催となりました。プレイされる皆様、お手伝いされる皆様も是非よろしくお願いたします。くれぐれも時間は気を付けて頂きたいと思っております。野田橋付近は本当に混んでいますので、プレイする前の 2 時間前には出るか 16 号を通るのも手段です。お手伝いの方は 6 時半までにお願致します。

先ほど、小林操さんよりお祝いということで頂きましたのでこの場でご報告させていただきます。

会員卓話

◆会員卓話テーマ 『ご両親への想い』



吉田 実 会員

ある方が『両親』のことをこんな風に言っていました。『両親』は英語で『ペアレント』。夫婦が『ペア』、『レント』は『借りる』。子供は親の所有物ではない独立した人格で、天からお借りして、愛して育てて社会に送り出す。だからペアレント。たまにはテレビもうまいことをいいますね。

私の父は、酒も飲めない少々病気がちな人間でした。病気がちと言っても一般的な暗いイメージではありません。なぜかすぐに鼻血を出す、トーストを食べたらなぜか口のなかが腫れる、そういう「なんで？」と突っ込みたくなるような病気がちな父でした。それなのに、血の気が多くケンカっぱやいところもありました。私が小学校 5 年生くらいの頃、突然『上司を殴って会社を辞めてきた！』と帰ってきたことがありました。確かに以前から会社の愚痴が多く、口癖は『社長なんか何もしていない』でした。当時父は、三井の子会社に勤めていたのですが、今考えればそもそも社長が自ら父と机を並べて仕事するわけがありません。ただ印象深かったのが、最近ではすっかり珍しくなった会社主催の運動会が当時開催されていて、父がそこに連れて行ってくれたとき、妙に生き活きとしていたこと、そして参加しているほかの大人たちも皆すごく楽しそうに盛り上がっていたことです。



またある日のことですが、私は車にひかれてしましまして、一緒にいた友達が父に知らせに行きました。すると父は、まさに着の身着のまま、ステテコとランニング姿で鉄砲玉のように駆けつけてきました。ある意味では体裁もいとわない、後先考えない、とてもやさしい男だったようです。そうは言っても、さきほどの会社を辞めてきた話ですが、私は、おそらく父は、本当は上司を殴ってはいないだろうと思っています。

そんな父たかしに連れ添ったのが、母うたです。思い返してみると、とにかく母は「ありがとう」をよく言っていました。

母は、家族はもちろん身近な近所の人たちにも、些細なことでも「ありがとう」をよく言う人でした。挨拶をするということは当たり前のことですが、例に漏れず私は思春期の頃、挨拶をすることが恥ずかしく感じていた時期がありました。近所の人に挨拶をしないようなことがあるとぶん殴られた記憶もあります。

とにかく挨拶には厳しい人でした。皆さんは周りに「ありがとう」を言っていますか？家族や友人、職場の従業員に対してもですがやってもらうことが当たり前になっていませんか？相手との距離が近づくほど、「ありがとう」が減ってしまっていないですか。私は自分ではあまり気がついていませんでしたが、スタッフと今回のことについて会話をしている中で会社でもよく、いろいろなパターンで「ありがとう」を言っているということを言われました。

何かをしてもらった「ありがとう」以外にも、心をこめたときの「ありがとう」。軽い感じの「ありがとう」(サンキュー)。ビジネスでの「ありがとうございます」。

「ありがとう」は言った方も言われた方も嬉しくなります。ありがとうの感謝の気持ちを持つことで、脳内から幸せホルモンと呼ばれるセロトニン、集中力・意欲アップや幸福物質とも呼ばれるドーパミン、絆ホルモンと呼ばれるオキシトシン、免疫アップなど脳内麻薬とも言われるエンドロフィンが分泌されると言われてもいるようです。そういったことを意識して言っているわけ

ではもちろんないのですが、人間関係が良好になるように感じています。「ありがとう」を言った方が「いろいろな物事がうまくまわる」。そう言った考えが母にもあったように今は思います。

母のエピソードとして思い出すのが、母が友達と旅行に行くときのことで、母が嬉しそうに持っていくルイヴィトンのボストンバッグは、私が海外で買ってきたニセモノヴィトン。なのに、『息子のお土産なのよお』と周りに自慢気に話しておりました。要するに母は、見栄っ張りだったわけですね。極めつけは、親戚が近所に幼稚園を開園することになったのですが、母は入園希望者をどうにか増やしたい余り、あるガセネタを流しました。『新しくできる幼稚園の保母さんたちはほとんどが、お茶の水女子大出身らしい』。ここで重要なポイントは、『お茶の水女子大出身だ』ではなく、『らしい』というところ。しかし、このガセネタが功を奏しまして、結果として、幼稚園入園希望者が予想をはるかに上回り、満員御礼となりました。

さてここで少しだけ、データの話をして。「国立社会保障人口問題研究所」の世帯動態調査の結果です。この調査は各世帯がどのように形成され変化したか、という世帯変動の実態と要因を調べるために、5年ごとに実施されています。ですからこのデータは最新と言っても2014年調査結果ということになります。なかでも私が着目したのは、親の生存率です。調査対象の20歳以上総数のうち、両親とも、もしくは自分の親が少なくとも1人は生存しているという者は61.2%、約6割です。ただしこれはあくまで20歳以上の調査対象全人口の話です。このなかで、我々に近い年代の55~59歳に限定すると46.7%。60歳から64歳層になると、35.2%。さらに年齢を上げて65歳以上全体で見ますと、父親母親いずれかの生存率はたった8.6%です。少子高齢化と言われている昨今ではありますが、自分が還暦を過ぎると、どちらか一方でも生きてくれている割合が4割を切ってしまうという現実を、非常にリアルに感じました。



つい最近流行した言葉で、『親ガチャ』というのを耳にされた方もおられるかと思います。「ガチャ」は、カプセルに入ったオモチャがランダムに出てくるガチャガチャのことで、どうやら若者の間で一時流行したようなのですが、メディアが取り上げたことで話題になりました。要するに、自分の人生は親や家庭によって決まるところで、どんな親の元に生まれてくるかはガチャガチャのように運任せである、という意味です。裕福な親なら当たり、そうでなければハズレ。親の立場からしてみたら、自分が当たりだろうがハズレだろうがかなりショッキングな表現でしょう。もともと日本社会には身分制度もありましたし、親の収入による教育格差という観点では、現代社会においても確かに「ゆる〜い身分格差」はあるとも言えます。貧しい家に育った子供が国を動かすような大人に成長する、というようなレアケースに感動する日本人も多い。この「親ガチャ」という言葉は、日本の抱える格差問題を象徴しているように思います。一方で、裕福な家庭の子供たちが皆、親の愛情を肌身に感じているかどうか疑問ですし、「裕福さ」と「育ちの良さ」は違うという考え方もあります。しかしながら我々に置き換えてみると、我々を育てたのは家庭のなかだけではなく、社会全体に鍛え上げ育てられたという自負がどこかであるのではないのでしょうか。社会に出てからもなお、成長してきたからこそ今があるんだ、と思いませんか。親ガチャでハズレだったと言い放つ若者達には、この先ぜひ沢山のガチャガチャを試して、だったら次は自分自身が次世代にとっての当たりになってやろうじゃないか、くらいの野心を持ってほしいと思えてなりません。

話は変わりますが、子供の学力は母親によって決まるという話があります。簡単に言えば、子供が勉強できないのは、母親のせいだということらしいです。一応しっかりしたエビデンスがあります。ひとつは文部省が公表した調査結果に基づいていること、そして遺伝に関する研究結果も出ていることです。もっと驚きなのは、子供の脳の限界値はすでに受精の段階で

決まってしまうというのです。ちなみにその子供の発育は、7〜8歳までの環境によって決まるそうです。残酷にも、いくら熱心に教育しても、脳の限界を超えた教育は、効果がないとも言われています。もちろん、何をもって知能や知性とするかという問題もありますが、遺伝子レベルの話になると、これはもう生んでもらった側からはどうにもならない。生まれる前からすでに母親が我々に大きく影響を及ぼしている事実を示す、ひとつの研究結果といえるかもしれません。ですが、知性や学力ではこういう結果があるにせよ、我々の性格性質の部分はどうでしょう。この研究結果の原因として、母親とのほうが子供と過ごす時間が長いせいだと言われていますが、性格性質で言うと私自身もどちらかといえば母親寄りかもしれません。つまり、見栄っ張りでもいい加減ということです。

長々とお話をして参りましたが、年を重ねるごとに、父と母の DNA は、自分の中に確かにあると確信することがあります。すでに他界してしまった両親ですが、自分の中の父や母を感じるとき、若い頃は嫌だと思ったこともありましたが、しかし最近になって、気づきました。親しい誰かに、両親のことを話すとき、自然と笑っている自分がいるんですね。それだけで私は、あの二人が自分の両親で良かったと思えますし、親のことを笑顔で話していること自体、ある意味親孝行にもなっているのかなとも思います。今回「両親」をテーマにお話する機会にあたり、父の真っ直ぐなところや、母の天真爛漫なところを思い出しながら、どこかで自分にも、そんな部分が受け継がれていたらいいなあなどとも感じていたかもしれません。私自身にも、そして両親にとっても、この席上で話すテーマが「両親」であったことは、非常に感慨深いものがあつたと感謝しています。

最後になりますが、仮に今もしも、父に会えたら、あの時は本当に上司を殴ったのかを聞いてみたいです。そして母に会えたら、本物のルイヴィトンを買ってあげようと思います。ご清聴、ありがとうございました。





市川 洋和 会員

両親への想いということで、会員卓話をさせていただきます。

皆様もご存じでしょうが、父親は 5 年前、母親は 3 年前に亡くなっております。2 人ともガンでした。父親は腎盂腎がん・母親は胃がんでした。

父は 58 歳の時に心筋梗塞で倒れ、心臓バイパス手術をしました。その時の主治医は上皇陛下の執刀医として知られています、天野篤先生です。手術前に天野先生からバイパス手術の後遺症で、血栓のカスなどが細い血管などに詰まり、脳梗塞や失明する可能性もありますと、説明されました。

父親の手術は成功しましたが、やはり血栓のカスが目の毛細血管に詰まり、失明してしまいました。その後も腹部大動脈瘤が破裂し 10 時間の大手術をしたり、腎臓が悪くなり人工透析をする生活になりました。

人工透析をするようになって、食事制限・塩分制限・水分制限などいろいろと制限されました。その頃自分は父に「目が見えないことや、食事制限など、辛くないの」と聞いたことがあります。父はこう答えました。「全然辛くないよ。目が見えなくなっても、いつも母さんや子供たちが近くにいるから大丈夫だよ。食事はたまには外食に連れて行ってくれよ」と言っていました。本当に父は強い人で、弱音を吐くようなことを一度も聞いたことがありませんでした。

亡くなる二日前に父が倒れ、病院に搬送されました。その日は自分が話しかけても全然分からない状態に

なっていました。次の日お見舞いに行ったとき自分は父の手を握りました。すると父は「この手はヒロ君の手だな」と意識がしっかり戻っていました。自分は父に「お父さん、また復活できるね」といい、父も頷いていました。

次の日に主治医から今後についての説明を聞きました。主治医の話では「腎盂腎がんが進行していますが今すぐ危険な状態になるわけではない。1 ヶ月後か、1 年後か分からないが、覚悟はしておいてください」と言われました。しかし父はその日に亡くなってしまいました。H28 年 5 月 11 日でした。越谷北ロータリークラブ 40 周年創立記念日でした。

つくづく父親は越谷北ロータリークラブと縁があったのだと思いました。父は厳しいところもありましたが、やはり優しく、いろいろな事を教えてもらいました。その中でも父がよく言っていたのが「謝ることの大事さ」と「謝ることへの勇気を持ちなさい」です。人は自分に非があることをなかなか認めることが出来ませんが、素直に謝ることによって、相手との信頼関係を築くことも出来る様になると言っていました。自分はこの言葉のおかげで、素直に謝ることが出来るようになったと思います。

母親は、几帳面で優しい人でした。植物が好きで、花や植木の手入れをよくしていました。自分が子供の頃には、庭に柿や琵琶、夏ミカンやキンカン、そしてサクラボなどが植えてあり、よく兄弟でおやつ代わりに食べていたのを思い出します。父が病気になるまでは、ロータリーや友達ともよく旅行に行っていました。ロータリーで旅行に行くときは、夫婦で行くことも多々あり僕たち兄弟はよく留守番をしていました。しかし、寂しいということはなく、食事代をいつも置いてくれるので、近くの「アライしゃぶしゃぶレストラン」で食事が出ると喜んでいました。

母は父が失明してからは、とても大変だったと思います。食事にしてもお風呂にしても、病院の付き添いにして、ほとんどの時間を父に費やしていました。し



かし、苦しんでいる様子はなく、父の世話を楽しんでいるようにも見えました。これが『夫婦の絆』なのかなと思ひ、自分もこのような夫婦でありたいと思ひました。

父が亡くなり、母も隠居生活をしたいとの希望もあり、実家を立て直し、一緒に住むことになりました。よく、母と妻と自分で、新しい家の設計などの話をしていました。母は新しい家に住むことを楽しみにしていましたが、実家を取り壊し、上棟式を終えた頃、母は亡くなりました。新しい家で一緒に住むことが出来ずとても残念ではありますがありません。

母が亡くなり、遺品整理をしていた時に、段ボール二箱分の写真があり、どうしようかと思ひましたが、手を付けず保管していました。今回このような機会がなければ、自分は段ボールに入った写真を見ることはなかったと思ひます。

皆様には何枚かの写真を見ていただき、少しの間だけ懐かしい昭和の時代にタイムスリップした気分になっていただきたいと思ひます。



会場では昭和にタイムスリップをして、皆で写真を閲覧しました。(※写真を閲覧されたい方は例会会場まで)

吉田会員、市川会員にご両親への想いを語って頂きました。ありがとうございました。

スマイル報告

・結婚祝いありがとうございます。本日は市川会員、吉田会員、会員卓話よろしくお願ひします。

中澤 伸浩

・年末で忙しくなってきましたが、健康に気を付けて、コロナなんかには負けるな!!でがんばりましょう。

今井 英治

・本日例会宜しくお願ひ致します。

中村 隆雄 松井 昭夫 佐藤 要

・誕生日ありがとうございます。55 歳なんて信じられません!

小宮山 大介

・誕生日祝いありがとうございます。市川さん、吉田さん卓話よろしくお願ひ致します。

鈴木 英男

・本日会員卓話をやります。皆さん寝ないで聞いてくださいね。

市川 洋和

・誕生日祝いありがとう。73 歳になりました。そろそろかな?

宮崎 敏博

・本日市川会員、吉田会員、卓話よろしくお願ひします。本日早退になります。

小林 操

・市川さん、吉田さん、卓話楽しみにしています。

大熊 正行

・市川先輩卓話楽しみにしております。泣かないでください。

高橋 忠克

・世界平和の為に!

堀野 眞孝

・吉田さん、市川さん卓話楽しみです。

須賀 篤史

出席報告

会員数	43 名
出席者	33 名
出席率	86.8 %

